



一外国語活動の研究授業・校内研修を通して一

後期巡回校における外国語活動の研究授業の紹介、最後は大沢小学校です。

大沢小の研修

● 全校公開授業

▶ 全校公開授業〔2月21日（火）〕

5年1組（児童15名）担任秋田谷先生とのTTという形で授業を公開し、先生方に参観していただきました。

単元は、5年生の最終単元レッスン9「ランチ・メニューをつくろう」。単元の後半（3／4時間目）部分を見ていただきました。

本時では、この単元のターゲットとなる英語表現

“What would you like? I'd like ~.”

に慣れ親しむことが主なねらいです。

このために、グループごとに「700～900kcalのスペシャル・ランチ（ヘルシー・ランチ、またはパワフル・ランチ）を考える」という場面設定・状況設定をしました。

グループで3つまたは4つのメニューを選ぶのですが、合計カロリーで目標範囲に入るように考えなければならぬという条件付きです。

活動のポイントは、「メニュー・カードを集めるために英語表現を使う」というところです。場面に応じた、状況に応じた意味のある言葉を使うことを、こうした活動を通して繰り返し体験させるということです。

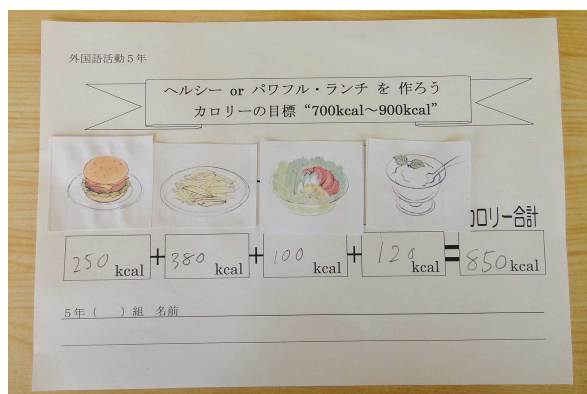
秋田谷先生の学級の児童も、落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組める子どもたちです。本時も、一語一語ていねいに声に出しながら一生懸命取り組んでいました。

次の4／4時間目は、「秋田谷先生のためのスペシャル・ランチを考えよう」というタスク活動を行います。

「秋田谷先生のため」という相手意識を持たせ、「栄養バランスも考えて」という他教科（家庭科）との関わりも生かした、5年生最終の活動となります。

秋田谷先生、授業公開ありがとうございました。

お疲れ様でした。



・ 本時(3/4時間目)に使用したワークシート

29年度の小学校英語（外国語活動）は、“検討・判断・決断”が迫られる年！

現行の学習指導要領のもと、小学校英語が「5・6年生外国語活動」として実施されるのは、基本的に29年度が最終となります。平成30・31年度は、2ヶ年の移行措置期間として、5・6年生英語科・3・4年生外国語活動実施に向けた準備期間となります。先日、本務校海陽小において、放課後のミニ研修の最終回を行いました。次年度に向けて、主な検討事項に関わる資料と情報の提供をしたわけですが、現場としては非常に悩ましいことがたくさん出てくることを、私自身が再認識したところです。このことにつきましては、移行イメージを具体的に示しながら、次号で触れたいと思います。